

平成27(2015)年7月20日

# 第 59 号

稲門会 明一 一 夫子次行男子  
 世田谷 田吉 俊浩 邦信 利秀 昭俊  
 横瀬 小寺 兼江 大若 馨

発行人集  
 発行編

事務局  
 神奈川県川崎市中原区新丸子東  
 3-1100-12 M2209  
 TEL/FAX 044-433-9202  
 林 馨 (はやし かおる)



# 世田谷稲門会会報

## 納涼会は上野の森でフランス料理

### ジャズとダンスのタベ

平成27年8月29日(土) 午後5時

真夏の夜、上野精養軒「桜の間」で上野の夜景を見ながら、極上のフランス料理に舌鼓をうち、デキシールランド・ジャズと唄に耳を傾けてください。

総合司会はおなじみの露木茂副会長が担当。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

申し込みは本誌に同封の納涼会募集案内と振込用紙にて。会費は8000円です。



今年の納涼会は西北会とレディースクラブの共催で実施されます。出演は早稲田大学ニューオーリンズジャズクラブ(OB/OG+現役)と、会員でもある歌手の花田玲子さんや男性ボーカルを予定しています。

また、当日はバザーを開催し売り上げを「地域サポート活動部会」を通じて福祉施設への寄付を予定します。

## 第24回定時総会

### 青葉かおりさんが講演

第24回定時総会が平成27年6月13日(土)、四ツ谷駅前主婦会館プラザエフにて開催された。



講演の青葉かおり四段

第一部の総会は会員81名、来賓6名が出席し、午後4時に島田幹事長の司会のもとに進められた。

議事に先立ち物故者への黙祷の後、横田会長が議長となり、「議案Ⅰ」平成26年度事業

活動報告承認の件、同決算報告承認の件、同監査報告、「議案Ⅱ」平成27年度事業活動計画承認の件、同予算案承認の件、「議案Ⅲ」役員選任の件を議場に諮ったところ、すべて異議なく原案通り承認可決された。議事終了後、新任幹事に就任した矢後勝洋、小林昭一郎、斎藤正憲、池田友彦各氏の四氏が紹介された。

続いて、来賓の早稲田大学常任理事守田好秋様、早稲田大学地域コーディネーター嶋村貴志様の紹介の後、守田様からご挨拶と大学の現況などの報告があった。

第二部の講演会では早稲田大学出身の日本棋院所属・青葉かおり四段に「女流棋士の頭の中」と題したご講演をいただいた。

まず、囲碁未経験者向けにルールや歴史、変化数の多さ、コンピューターとの対局状況などパワーポイントで説明いただいた。そして、「正解の分からない状況において良い選択をする為には？」をテーマに囲碁と関連付けながら思考のあり方を話された。

囲碁は選択のシミュレーションゲームであり、「最善の選択(ベストチョイス思考)」



(戸田 昇記)

と「より良い選択(ベターチョイス思考)」をどう決断していくかが重要である。ベストチョイスは正解の出る場面では正しいが、正解の出ない場面ではベターチョイスに劣るのではないかとの事であった。

人生や仕事において、進むべき方向を選択しなければならぬ場面、具体的な囲碁の対局に置き換えてお話をいただき、大変示唆に富んだ講演だった。

第三部の懇親会は9階に場所を移し、横田会長の挨拶の後、嶋村様と杉並稲門会会長久保田様にご挨拶をいただいた。東京23区支部長塚田様の音頭で乾杯、歓談に移った。合間には福引券付稲門祭記念品の販売、8月29日(土)に開催予定の納涼会の紹介があった。また、「地域サポート活動部会」による募金も行われた。最後に応援部OBの池田友彦氏のリードによる校歌斉唱で盛会のうちに幕を閉じた。

世田谷稲門会・平成26年度決算及び27年度予算

(単位:円)

項 目		26年度予算	26年度実績	27年度予算	
前期繰越金		①	673,236	673,236	893,000
収 入	年会費(準会員含み)	②	1,373,000	1,372,000	1,372,000
	総会 会費	ア	800,000	770,000	800,000
	新年会 会費	イ	1,100,000	985,000	1,000,000
	納涼会 会費	ウ	800,000	1,019,200	1,000,000
	諸行事 小計(ア~ウ)	③	2,700,000	2,774,200	2,800,000
	組織強化補助金	エ	505,000	513,000	513,000
	利息収入	オ	75	93	93
	預り金	カ	0	8,000	0
	その他収入小計(エ~カ)	④	505,075	521,093	513,093
	収入合計②③④			4,578,075	4,667,293

支 出	総会 費用	1	800,000	807,908	800,000
	新年会 費用	2	1,100,000	840,660	1,000,000
	新年会景品代	3	100,000	80,564	100,000
	納涼会 費用	4	800,000	1,033,120	1,000,000
	諸行事 小計(1~4)	I	2,800,000	2,762,252	2,900,000
	早大サポーターズクラブ寄付金	5	50,000	50,000	50,000
	地域サポート活動費	6			20,000
	ブロック、部会支援金	7	70,000	70,000	70,000
	ブロック部会代表者会議費	8	30,000	20,790	40,000
	校友会23区活動費	9	150,000	193,597	200,000
	広報活動費	10	600,000	625,882	650,000
	事務運営費	11	40,000	16,720	20,000
	会議費	12	300,000	239,568	270,000
	事務用品費	13	80,000	108,384	120,000
	通信費	14	230,000	189,437	210,000
	雑費	15	100,000	70,899	80,000
	積立金繰入額	16	100,000	100,000	100,000
	17				
諸経費 小計(5~17)		II	1,750,000	1,685,277	1,830,000
支出合計 I + II			4,550,000	4,447,529	4,730,000
次期繰越金			701,311	893,000	848,093

積立金(記念事業等)	200,000	200,000	300,000
------------	---------	---------	---------

26年度次期繰越金+積立金(1093,000円)内訳  
現金44,855 銀行預金693,908 ゆうちょ預金354,237



池田 友彦氏 (昭62文)



斎藤 正憲氏 (昭50理工)



小林 昭一郎氏 (昭41政経)



矢後 勝洋氏 (昭40政経)

**新役員紹介**  
今年役員改選年ではありませんが、次の4名の役員が増員となりました。

## 戦後70年特集企画 終戦前後の早稲田と私

## 第2回「紙一重の幸運」

岩佐 保（昭21政経）

第2回目は昭和21年卒の岩佐保さんにお話を伺いました。93歳になられますが、歯はすべてご自分の歯というのに、まず驚きました。稲門会では囲碁・将棋部、麻雀部に参加されています。

まさに頭から足の先まで、「嬰鑠（かくしゃく）」というのは岩佐さんのためにあるような言葉だと思いました。

お訪ねしたのは雛祭りを控えた2月半ば過ぎ。奥様が作られた素敵な吊るし雛がかすかに揺れていました。

## 修学旅行は「内地」に

昔、「湾生（わんせい）」という言葉がありました。「台湾生まれ」を意味し、台湾が日本の領土だった頃は、北海道生まれを「道産子」というのと同じような感覚で使われました。

私は大正10（1921）年、台北生まれの「湾生」です。小学校は初代台湾総督だった樺山資紀伯爵の名を取った樺山小学校に通いました。

台北一中の修学旅行では、当時は「内地」と呼ばれていた



「復学したが、出席するのがやっつとで試験もなかった」と語る岩佐保さん

現在の日本に行きました。もともと修学旅行は、小学校では内地、中学校では南支（現在の華南＝中国南部）に行くことになっていたので、昭和12（1937）年に日中戦争が始まったので、中学校の行先も内地に変更になったのです。

## 寮には「排酒聯盟」

台北一中を卒業すると、昭和15年に早稲田第一高等学院の文科に入学しました。A組からO組まで一学年15クラスあり、一クラスの人数は30名くらいでした。

下落合にあった暁稲学寮に入りました。当時は地方出身者がほとんどで、東京出身者は1割くらいしかいませんでした。

寮は学部の学生と学院生が一緒になって自主運営していたので、とても面白く、楽しい生活でした。有志で大島に行ったことが懐かしく思い出されます。寮には「早稲田大学排酒聯盟」なるものがあったて、厳しい禁酒禁煙が守られていました。

17年9月には学院を半年早く繰り上げ卒業となり、10月に大学の政経学部に入りました。そこで、社会人として酒ぐらい飲めた方がいいかなと思つて、禁酒禁煙の寮を出て近くの素人下宿に移りました。

## 学徒動員で船に乗る

しかし、翌18年12月に学徒出陣になり、広島の高重（しちよう＝輸送担当）隊に配属されました。その中でも馬を扱う部隊で、馬の餌やりに明け暮れました。

4カ月後、陸軍甲種幹部候補生に合格、見習い士官として香川県豊浜の陸軍船舶幹部候補生隊で上陸用舟艇を使った訓練などを受け、19年12月に、そこを卒業。

20年1月、機関砲連隊に入り、3月、船砲隊長として貨物船（3000トン）に乗船、護衛にあたり、北朝鮮の羅津（らしん）と敦賀・舞鶴を往復しました。戦況は悪化してお

り、軍港はしょっちゅう爆撃されていきました。応戦するにもすでに弾薬は少なく、機関砲と言つても形ばかりのものでした。そんな中で私の乗った船が無事だったのは幸運としか言いようがありません。

たとえば羅津にいた時には舞鶴が爆撃を受け、舞鶴にいた時には羅津が攻撃されるといった具合でした。ソ連が参戦、南下してきた時も、1日違いで羅津を出港し、敦賀に向かつていて事なきを得ました。まったく生き残るも死ぬも紙一重、という毎日でした。

終戦になつてもすぐには船を降りられず、引揚げ者に乗せるため、8月末、僚船5隻と船団を組んで釜山に向かいました。途中、1隻が機雷に触れ、沈没しました。

この時に乗せてきたのは関東軍の軍人で、一般人の引揚げはしばらく後になりました。戦争に負けた後も軍優先だったのです。

## やつと復学、卒業

9月に召集解除となりましたが、今や外国となつてしまつた台湾の両親がどうなつたかわからず、途方にくれましました。

軍からの退職金が2回に分けて出るということで、それで復学しようと思いましたが、

出たのは最初の1回、現金千円のみで、2回目の手形はマツカーサーの命令で没収されてしまいました。

しかたなく、北九州小倉の伯父に千円借り、やつと三年生として復学することが出来ました。下落合の下宿は無事で、机や本もそのまま残つていて助かりました。

なお、2年間も音信不通だった両親は、昭和23年にやつと台湾から帰つてきました。

21年9月に大学を卒業、大倉土木という建設会社に入社しました。後に財閥解体の結果、大成建設となった会社です。厚生課に配属となりましたが、当時の仕事は社員にナベ・カマの配給をすることでした。今では想像もつかないでしょうが、復員したり外地から引き揚げてきた社員は何もないので、まず食べる世話をするのが先決だったのです。

上祖師谷に住んで50年になります。世田谷稲門会に入つてからはまだ1年足らずですが、新しい知り合いもできましました。千歳会の保倉進さんとは学徒動員豊浜十一期会の同期でもあります。もつと早く入会すればよかつたかな、と思つています。

（インタビュー・鷺巣俊子  
写真撮影・榎並俊二）

## 第三回「稲門寄席」開催

平成27年5月1日(金)午後6時から9時まで「第三回稲門寄席」が三軒茶屋の「シアタートラム」に於いて開催された。

世田谷稲門会会員並びにご家族、友人108名が前座を除いて四名の早稲田大学卒業の演者による落語・漫談を楽しんだ。

番組は開口一番柳亭市助の「狸の札」。市助は現在落語協会会長の柳亭市馬の四番弟子、現在前座だが6月には二つ目に昇進「市童」の名前になる予定。次は女性落語家の柳亭こみちの「鮑のし」、一席の後、踊りを披露。こみちは柳亭燕路のただひとりの弟子で現在二つ目。

仲入り前は林家久蔵の長いまくらの後「目薬」。真打の久蔵は笑点でお馴染みの林家木久扇の弟子。

仲入り後はマグナム小林のヴァイオリンを演奏しながらの漫談、タップダンスを交えて熱演。現在落語芸術協会に所属。トリは柳亭燕路の「八五郎出世」。真打の燕路は人間国宝柳家小三治の五番目の弟子。江東稲門会の会員。『笑う門には福来る』と言います。皆さん大いに笑いましょう。(富塚 兆彌/記)

柳亭燕路



マグナム小林

林家久蔵



柳亭こみち



前座、柳亭市助

### ＝母校の今＝(第29回)

#### 早稲田から WASEDA へ! (その1)

着実に進む早稲田の国際化

1994年、当時の奥島孝康総長が「Think globally, Act locally」という視点を基に「グローバル・ユニバーシティ」を提唱したことに始まる早稲田の国際化への動きは、1998年に大学院アジア太平洋研究科を皮切りに、英語で学位が取れる大学院を複数開設することからスタートした。

2004年には国際教養学部を新設。さらに、2008年に発表した中長期計画「早稲田Next・125」では「早稲田から WASEDA へ」をスローガンに掲げ、早稲田が目指す国際化という大きな方向性を社会に示した。

その後、2009年には文科省「国際化拠点整備事

業(グローバル30)」の採択を受けた学部(政治経済、基幹理工、創造理工、先端理工、社会科学)とそれに連なる大学院6研究科を加え、現在は英語学位プログラムを6学部11研究科に展開している。

また、2013年に策定された「早稲田 Vision 150」では、創立150周年を迎える2032年までに、全ての日本人学生が何らかの形で海外に留学し、一方、海外留学生10,000人を受け入れることなどを目標として打ち出している。

さらに、昨2014年3月には、「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ」(国際学生寮併設)をJR中央線中野駅近くに建設・開所するなどの動きを経て現在に至っている。

以上が、早稲田の国際化に向けたこれまでの主な動きである。(以下次号へ)

(大内 秀行/記)

## ブロック会だより

### 西北

○「第35回西北会例会開催」

平成27年3月21日(土・祝)に例会を開催。第一部は代々木上原の「古賀政男音楽博物館」にてミュージアム講座“永遠の古賀メロディー”を拝聴。抒情的な古賀メロディをオペラ歌手が声量たっぷりに熱唱。最後は会場一同で「東京ラブソディ」を大合唱。



第二部は下北沢に移り、四川料理「天華」で懇親会。柏良子代表より参加者への謝意と納涼会での協力を依頼。高橋惇さんの乾杯の発声で開宴。その後、横田吉明会長より本部の最近の動き、熊谷慶紀さんから今夏の納涼会の企画内容の説明と協力依頼。会話が弾むが時間となり齋藤治雄さんの“西北会は脳細胞が活性化する素晴らしい会”との中締め挨拶で散会。参加者27名

○西北会春季懇親ゴルフコンペ実施

平成27年4月21日(火)名門日高CCにて西北会ゴルフコンペを実施。4組13名で熱戦を展開。当日は雨も上がりまずまずのゴルフ日和。タフなコースは相変わらず。優勝はベスグロの宮坂尚利さんが獲得。その後下北沢の“北海道”に移り“反省会”を実施。



(桃井 清治/記)

### 千歳

千歳会は定例の懇親会を春と秋の年2回開催しています。

今年の春は4月4日(土)に代々木上原の「古賀政男音楽博物館」「東京ジャーミイ(日本最大のイスラム教モスク)」を見学後、京王線笹塚駅まで約1.5kmを歩きました。その後、下高井戸「旭鮎総本店」にて懇親会を21名の出席者にて開催しました。

この数回は誰でも気軽に参加できる催しとして、施設の見学を兼ねたウォーキングの後、懇親会を行っています。以前には工場見学や博物館・記念館見学なども行いました。

今後も多くのメンバーが参加できる企画を考えていきたいと思えます。

なお、秋の懇親会は10月頃を予定しています。

(戸田 昇/記)

### 玉川

4月2日(木)にお花見会と東京理科大学数学体験館見学会を開催しました。当日の参加者は12名(内女性1名)で、午前9時45分に飯田橋駅に集合し、先ずはお花見を開始しました。この日桜は満開で天候は快晴、外堀公園、靖国神社、千鳥ヶ淵を巡り、満開の桜を心行くまで堪能しました。この後飯田橋に戻り、11時30分から和牛レストランで食事と歓談を楽しんだ後、神楽坂の街を散策しながら東京理科大学数学体験館に向かいました。数学と日常生活との結び付きを色々体験することが出来て、非常に面白く有意義でした。



5月10日(日)午前11時30分より春のグルメ会を開催しました。玉川会ではランチ形式の食事会を春と秋に開催していますが、今回は自由が丘の中華料理店「状元樓」で、料理が美味しいことで知られる名店です。

参加者は、会員21名、夫人7名、会員のご主人1名の29名でした。会場の関係で部屋が2つに分かれたため、初の試みとして挨拶、スピーチ、席替え、締めの挨拶は行わず、ひたすら参加者に歓談と料理を楽しんでいただくという形にしてみました。2部屋で3つのテーブルに分かれましたが、乾杯もテーブル毎にやりました。皆さん夫々に会話も大変に弾んで楽しく過ごしていただけたようです。

(太田 隆/記)

### けやき

平成27年度のけやき会総会を4月18日(土)千歳船橋のレストラン「オー・ランデブー」で開催しました。本部から、鈴木宏治さん、林馨さん、井澤貞夫さんに参加していただき23名出席の下、懇親会をかねて12時から3時間楽しくにぎやかに過ごしました。



この日は、けやき会世話人の齋藤正憲さんとその現在の勤務先「発泡スチロール協会」で一緒に仕事をされている廣瀬康弘さんに「発泡スチロールとリサイクル」というテーマで講話をしていただきました。

講話では、われわれの生活に特になじみの深い EPS という種類の発泡スチロールについて、パワーポイントと実物を使っての丁寧な説明がなされ、日常何気なく使っている発泡スチロールが日々続けられている研究開発の成果としてあることに出席者一同認識を新たにしたようです。

10月に予定している懇親会では、神代植物公園で秋の花を楽しみます。

(兼子 慎介 / 記)

## さくら

さくら会は春と秋の年2回懇親会を開催して親交を深めています。

平成27年4月の昼食懇親会の出席者は、横田吉明、鈴木宏治、関根昌一、上田忠雄、若林昭男、高橋悦男、飯島勲、井山庄司、渡辺義治、原建司、矢後勝洋、小口浩一、尻無浜優、佐々睦子、金美智子、内藤娃子、木原禎子、花田玲子、中村京、江原利次の20名で、新入会員の尻無浜氏のユニークな自己紹介もあり、三軒茶屋の銀座アスターで中華料理を楽しみました。



5月～6月は、世田谷稲門会入会キャンペーンの打ち合わせと活動を進めています。

秋のさくら会懇親会は10月17日(土)の午前11時30分から午後2時まで同じ銀座アスターにて開催する事に決まりました。

(江原 利次 / 記)

## キャロット

平成27年5月17日(日)、午後5時から「燕来香三軒茶屋店」にてキャロット会の親睦会を実施いたしました。まずは世話人代表の富塚兆彌さんから開会の挨拶があり、次に本部からご出席いただいた桃井清治幹事から、世田谷稲門会の現状、納涼会の紹介、新入会員募集キャンペーン、稲門祭記念品販売などについてお話を頂いた後、乾杯の音頭を取っていただきました。



総勢15名の方にご出席いただき、美味しい中華料理と飲み放題の紹興酒を十分に堪能し、大いに盛り上がりました。初参加の濱野千鶴子さん(S50教育)と坂井宏爾さん(H3教育)にご挨拶と自己紹介をしていただきました。終盤には稲門祭記念品を希望者が購入し、2時間の会に幕を下ろしました。

次回は年末11月29日(日)にオステリア・ポーノにて忘年会を予定しています。

(榎並 俊一 / 記)

## きぬた

平成27年度の初めに当たり、きぬた会世話人会の会合を5月8日(金)に、成城学園前駅南口の「旭鮪」にて行いました。当日は國澤代表をはじめメンバー6名が参加いたしました。先ず、國澤代表より本部からの報告として、総会の件、「新入会員募集キャンペーン」の件等の報告をいただきました。引続き、きぬた会の活動について、昨年度の振り返りや今年度の体制と活動計画などにつき忌憚のない意見交換を行いました。更に、今年度の重点テーマである「新入会員募集キャンペーン」の対応については、募集活動の具体策を策定し、即実行に移すことに致しました。次回の行事につきましては、散策(または見学会)と懇親会という案で9月中旬に開催すべく企画中です。ご期待下さい!



(畔上 孝夫 / 記)

## 部会だより

### 青年

「仕事があっても参加できる」「若手でも参加しやすい」を合い言葉に毎回楽しく盛り上がっている青年部会。ある時は自由闊達な会話に刺激を求めて。またある時は仕事で疲れた心身を癒しに。マイペースで過ごせる素敵なひとときを提供中です。

来る7月3日(金)、例会を開催する予定です。皆様が会報をご覧になる頃には、ビール片手に暑い夏をも吹き飛ばす熱い語らいで賑やかなひとときを過ごしたはず!この部会も発足から早5年を経て、青年ならではの新たな「心のふるさと」として定着してきました。

年会費無し、都度飲み代を持ち寄るだけで参加できるというシンプルな魅力はそのままに、常に探求心を持って進化していきたいと思えます。現役で仕事をされている「青年の心を持つ」皆様!年齢制限などありません、一度参加してみませんか? 幹事一同心よりお待ち申し上げます。

(薦田 誠 / 記)



## レディースクラブ

平成27年6月3日(水)、下北沢の四川料理店「天華」で、平成27年度第1回の打ち合わせ会を行いました。当日は生憎の雨にもかかわらず21名の参加があり、また、西北会の麻生卓司氏やニューオルリンズジャズクラブの寺島邦夫氏にもご出席いただきました。

議題は、27年度の活動計画です。柏代表の進行のもと、打ち合わせはスムーズに進み全員一致で次のことが決まりました。レディースクラブは、今年度は西北会と共催で納涼会を行います。さらに、今回は、地域サポート活動部会と共催で会場内でバザーを開き、その売り上げを地域サポート活動部会に寄付することとします。  
(篠崎 章子/記)

## 地域サポート活動

平成27年4月26日(日)と5月24日(日)、三軒茶屋の市民活動支援コーナーで定例の打ち合わせ会を行いました。前回会報58号で、会立ち上げの詳細な記事を書いたところ、多くの方々からご賛同の意志をお寄せいただきうれしい限りです。今回は第1回の報告として、立ち上げから6月10日まで募金状況をご報告いたします。ただし、匿名希望の方につきましては、金額のみのご報告といたします。

○麻雀部会 12,000円(2回)    ○玉川グルメ会 4,000円    ○食べ歩き会 7,000円  
○匿名希望(4名) 31,000円  
(篠崎 章子/記)

## ゴルフ

### 第10回世田谷稲門会・三田会懇親ゴルフコンペ

平成27年5月14日(木)桜ヶ丘カントリークラブにて開催されました。両会を合わせ7組26名が参加して、新ペリア方式で団体戦・個人戦を競いました。結果は、榎並俊一(W)が45:43=88、ハンデ15.6、NET72.4で接戦を制して優勝しました。準優勝は織田隆良さん(K)、三位は菅田正道さん(K)でした。

団体戦は各々上位5名のNETスコア合計で競い、早稲田チームが3ストローク差で勝利しました。暑い中、お疲れ様でした。

### 第83回世田谷稲門会ゴルフコンペ

平成27年6月3日(水)、都留カントリー倶楽部にて開催されました。当日は朝から生憎の大雨で、当初28名(7組)の参加予定でありましたが、天候不順から欠席者が続出し、結局7名の方がリタイアをされました。勇気ある21名の精鋭たちが、大雨の降る中を7組(全組スリーサム)に分かれ競技を開始しました。前半はかなりの大雨でしたが、後半には雨も上がり18ホールを無事に終えることができました。

総合優勝は何と御年86歳の江口工さんでした。49:45=94、ハンデ28、NET66の6アンダーというビッグスコアで断トツの優勝です。準優勝は倉田富士男さん、3位は磯田進さんでした。グランドシニア優勝は島田實さん、シニア優勝は桃井清治さん、レディース優勝は村松久子さんでした。  
(榎並 俊一/記)



左から桃井さん、江口さん、村松さん、島田さん

## スポーツ観戦

### 東京六大学野球6季ぶり44回目の優勝

東京六大学野球春季リーグは早稲田が慶応に連勝し完全優勝を果たすとともに44回目の優勝を達成しました。

世田谷稲門会スポーツ観戦部会では5月30日(土)、猛暑の中、過去に例のない15名の少数で観戦しました。試合は早大大竹投手の好投と打撃も強打で4-0の完勝でした。

早大のファンにとっては久しぶりに大満足できる試合でした。

試合終了後は球場近くの「ますだや」で恒例の祝賀懇親会を行い盛会でした。協会発表の今シーズンの成績は投打ベストナインの選出などは早稲田の選手が独占しており、6月の全日本大学選手権にも是非勝利して日本一になってほしいものです。その勢いで秋季リーグ戦も強い早稲田を期待します。最終戦終了後の閉会式、表彰式、早大への祝賀パレードも盛況でした。

お願い！スポーツ観戦部会では会員を再確認しますのでよろしく願いいたします。

担当：岸田正和 電話 03-3704-2642、小林昭一郎 電話 03-3705-0129

(岸田 正和/記)



## 俳句

平成 27 年 4 月 27 日(月)開催の句会は、日下野由季先生及び 12 名の会員により、予め出題されていた兼題「日永、遅日」と季節に相応しい自由句を持ち寄って開催されました。

5 月 25 日(月)の句会は、13 名の会員により兼題の「牡丹」と自由句により行われました。

両月の会員諸氏の高得点句を紹介します。

それぞれの闇を抱きて座禅草	家井雪子	船頭に借りし菅笠夏柳	荒居隆二
桜しべしどけなく降る薄暮かな	田中 勝	初夏の風に吹かれて磨崖仏	富塚兆弥
千枚田毎に光る遅日かな	江原利次	嵐山丸ごと窓に夏座敷	松尾 守
春ショール纏ひし二人の長話	沼田宣子	山高し雪形の駒駆け下りて	榎並俊一
緞合の夏着とどける高速船	暮田忠雄	柔らかき土の小路や花卯木	矢後勝洋

(江原 利次/記)

## 食べ歩き

(1) 平成 27 年 4 月 26 日(日)、東京府中競馬場貴賓室に於いて有志による観戦昼食会を開催しました。参加者は 40 名、ダービールーム 2 室が満員でした。今回初参加で馬券を買うのも初めてという会員が 1 枚買った馬券が、3 連複の大当り。ビギナーズラックは本当にあるんです。(柏 良子/記)



(2) 5 月 26 日(日)、第 64 回を港区六本木ヒルズクラブにて開催しました。

初夏の陽気となった日でしたが、47 名の参加がありました。鈴木宏治副会長による乾杯の挨拶により開会し、次いで新入会員のご挨拶、篠崎章子幹事より地域サポート活動部会による募金活動の紹介がありました。

今回で世話人柏良子、加藤隆夫、岸田正和、荘司眞恵の 4 名が退任し、新世話人に中井盛久、松尾守、大山毅彦、熊本ちづる、矢尾板明子になります。

今後とも「食べ歩き会」を宜しく願います。

(加藤 隆夫/記)

## 釣り

春の乗込み真鯛、真鮎釣りはそれぞれ 3 回釣行した。沖釣りの真鯛釣りは恒例の間口港利一丸より出漁。

3 月 29 日、6 名。鯛は釣れず、大鰻を成田、土田さん大漁。

4 月 2 日、霞ヶ浦毎年好漁の高崎の機場、ホソへ 7 名。25cm 級 5-6 匹。16 日川尻のホソは 30cm 強の鮎ひしめいていたが、産卵のため口使わず、たまたま口近くにスレで 32cm 1 枚。鯉は川口さん 50cm を釣る。

4 月 26 日、7 名。海洋写真家の中村康夫さん再入部し、さすが 30cm 強大鰻 40 匹以上。真鯛船中 1 枚のみ。

5 月 31 日、6 名。西尾さん友人真鯛 40,30cm 2 枚、珍しく 35cm メジナ 2 枚出る。鰻は西尾さん一人入れ喰いで釣果を皆に分けてくれた。真鮎は 3 月強風のため不可。溪流釣り 7 回柴田単独釣行し、岩魚 36cm をはじめ毎回 3-5 匹夕刻釣る。今後の予定沖釣りはキス、イシモチ、中鰻。内水面は江戸川の手長エビ、京浜運河のハゼ釣り。

(柴田 昇/記)

## 写真

写真部会では作品の発表は A4 サイズまたは A3 サイズでプリントし、用紙も写真用紙、マット紙、和紙その他を使用して表現しています。映写は一切行っていません。この方法は参加者の皆さんの作品のレベルとプリント技術が急速に上がり、素晴らしいプリントを毎回色々と工夫して見せます。現在の写真の表現は印画紙とは違って、絵画と同じ様に表現が多彩になりました。例えば抽象画風、油絵風、水彩画風、日本画風、水墨画風等その他に出来ます。更に重要なのはプリントの明るさの表現と自分の明るさを持つ事です。印画紙や映写に比べインクジェットプリントは遥かに高解像度で奥行きのある表現になります。これの総合が自分の作風が出来てきます。是非例会をご覧になれば分かります。例会のご参観を歓迎致します。入会も勿論大歓迎です。

## (1) 例会実績報告

例会：10 時～13 時 30 分 東京農大校友会館 教室 (第 3 木曜日)

平成 27 年 3 月 19 日、4 月 17 日、5 月 15 日、6 月 18 日

## (2) 今後の予定

平成 27 年 7 月 16 日、8 月は休会、9 月 17 日、10 月 15 日。

(種谷 鴻成/記)



## 芸術芸能鑑賞

さくらの季節から、春の無い直接夏を思わせる陽気を迎えている今年です。

相変わらずの人気に沸く「三越落語会」は5月28日(木)に白酒、鶴光、文治、木久扇の出演で12名参加。稀にみる笑いの渦に包まれました。5月14日(木)には「春のポピュラー音楽祭」に会員の花田玲子さんが出演し、菅原洋一やボニージャックスなどの美声に酔いしれました。更に昨年好評の国立劇場での「歌舞伎教室」を案内、7月12日(日)と16日(木)の2回に別けて参加の予定。この企画は好評でチケット入手に苦勞している。酷暑が予想される8月は案内を避ける予定。(鈴木 宏治/記)

## カラオケ

■<月例会>毎月第一土曜日 13:00～17:00

BIGECHO ハッピーパーティ下北沢駅前店。参加費 2000 円。飲み物前後半 2 回注文キャンディ付。全員集会后 3～5 室入れ替え(出欠返信で部屋割り) 4 時間で各人 8～10 曲を歌い最後に全員で都の西北か紺碧の空を斉唱します。

■第 97 回 4 月 4 日<定時総会>(16 名) 4 室。運営・役員・監査報告を承認してから熱唱。

第 98 回 5 月 2 日(19 名) 5 室。第 99 回 6 月 6 日(17 名) 4 室。♪普段出せない大声を出したり、知らない歌手や曲を覚えたり、練習方法を披露したりするサロンの雰囲気です。(倉田 豊/記)



## ウォーキング

平成 27 年 4 月 19 日(日)開催のウォーキングは、南武線の谷保駅に 10 名が参加して最初に菅原道真公を祀る谷保天満宮にてお参りと集合写真を撮り、鎌倉時代の北条家の出城跡で往時を偲び、国分寺崖線の湧水池と清らかな流れを眺めながらの散策を楽しみました。くにたち郷土資料館では古代の遺跡と現代への発展の歴史を学び、ママ下湧水公園を通過して矢川駅まで歩き解散となりました。

5 月 17 日(日)は若葉の皇居を一周する江戸から明治そして現代への歴史散歩のコースを楽しみました。当日は晴天に恵まれ 14 名の参加により午後 1 時に半蔵門駅を出発して千鳥ヶ淵から半蔵門、歴史にその名を留める桜田門を経ての一周の散歩となりました。5 月にしてはやや暑い一日でしたが、5 キロの道のりを全員無事に歩き終わりました。(江原 利次/記)



## 麻雀

麻雀部会の立ち上げのお一人で当会の名物代表世話人、下谷内さんが 12 月の定例会前に体調を崩され、現在も復帰されておられません。丁度当会の 12 月忘年会を兼ねた定例会の直前でしたが、引継ぎと準備が整わずに定例会は挙行しましたが、残念ながら忘年会はお流れになりました。下谷内さんが不在の現在も他の世話人がきりもりして、従来通りに月 1 回の定例会と、毎週水曜日の麻雀会を開催しております。麻雀部会運営の難しさは、メンバーを揃えるところにあります。とにかく 4 名一組が最小ユニットですので、基本的にその倍数のメンバーの確約を取るところから世話人の仕事が始まります。ところが当日にドタキャンやら申し立てない方がお見えになったりして倍数外になり、世話人の苦勞はたえません。あまり人のことは言えません。写真は 6 月 7 日(日)の 28 名参加しました定例会での集合写真です。

優勝：郡山弘文さん、準優勝：阿部信之さん、3 位：江口工さんでした。

(國澤 俊一/記)



## 将棋・囲碁

平成 27 年 5 月 30 日(土)～31 日(日)、囲碁部定例会を世田谷区立休養ホーム「ふじみ荘」にて開催しました。大田稲門会囲碁部からは女性 2 名を含めた 10 名、杉並稲門会囲碁部から 5 名の応援参加を得て、世田谷からは 93 歳の岩佐保さん(三段)以下 11 名が参加し、総勢 26 名で合同囲碁対局会を実施しました。八段から 2 級までの 26 名を段位順に A、B、C の 3 クラスに分けての対局で、一人 5～6 局を打って勝敗を競いました。A クラス優勝は竹田隆雄五段(杉並)、B クラス優勝は遠藤昌弘五段(世田谷)、C クラス優勝は丸山晃四段(世田谷)でした。

終了後、食堂で懇親会を開催し、大いに懇親を深めました。

(池松 正之/記)



# 会員の広場

戦後70年 今想うこと

柏 良子(昭31政経)



平成8年3月25日、渋谷区大和田小学校の卒業式で6年生の児童の横に初老の男女が十数名並び、一人一人に卒業証書が手渡されました。大和田国民学校、昭和20年卒の私達です。空襲のため「手にすることの出来なかつた卒業証書」を52年の歳月を越えて頂くことができました。そして、級友たちと52年ぶりの再会を果たし旧交を温めました。

ました。

この様な悲惨な体験はありませんが私も被災しました。昭和20年5月25日夜のことです。空襲警報のサイレンでとび起き、防空頭巾をかぶり学校の力バンだけをもち防空壕へと急ぎました。「今夜はいつもより爆撃が激しいから線路下の方に避難しろ」と言う父の声で井の頭線の線路下にある町会の防空壕に飛び込みました。途中冷たいものが降ってきましたが雨だと思いましたがガソリンだったのです。空からB29がガソリンを撒いてそのあと焼夷弾を投下する、木造家屋の多い当時の街は忽ち焼けつくされ火の海です。真つ暗な防空壕の中で息をひそめて爆撃の止むのを待ちました。「ここにいと蒸し焼きになるからトンネルの方へ」という自警団の指図で、私達は土手をよじ登って線路に這い上がりトンネルへと走りました。ここは今も井の頭線の渋谷―神泉間で使われているトンネルです。

夜がしらじら明けるころ空襲解除のサイレンが鳴り恐る恐るトンネルを出ました。息を呑みました。渋谷駅から道玄坂の街並みがすっかり焦土と化し、まだあちこちから火の手が上がっています。我が家は角にあつたせいはまだ焼け残っていました。ほつとしたのもつかの間、隣から燃え移り忽ち火に囲まれていきました。「私の家が燃えてしまう。大事にしていたものみんな」涙が止まりませんでした。焼け落ちるのをただ呆然と見守っていました。

線路の上から泣きながら我が家の終焉を眺めていたあの日のことはいまだに忘れることができません。昭和20年5月26日未明のことでした。この日を最後に東京大空襲は終わり、空襲の魔の手は各地に伸びてゆきました。この夜の空襲で同期の男子が2名亡くなりました。私の長兄も次兄も戦死しております。膨大な犠牲が払われて、日本は戦争をしない国になりました。戦争のない70年の歳月がどれほど大切であつたか身に沁みます。もう2度とあのような思いをする人のいない世界を、戦争を知らない人々達が造り上げていって欲しいと切に願っています。

平穏な日々を過ごせる今に感謝しております。

我が家のお客さん

長島 春雄(昭35法)



我が家を訪れる常連客は二組いる。

一方は高校時代のバスケット仲間二人。月一度ほどの訪問で、いつも昼前の11時半頃にやってくる。昼飯を一緒にしようというわけである。なぜ昼飯か、二人とも飲まないからである。

いや飲めないからである。一人は体質が受け付けない。もう一人は本来かなりいける口だったが、一昨年腹部動脈の障害で手術を受け、表向き禁酒を続けている。

で、毎度の昼飯は小生があれこれ考えて調達している。二人を迎えるために当日は掃除をしたり買い出しをしたりと、朝から忙しい。小生一人住まいだから仕方ない。昼飯を済ませ、コーヒーに菓子などを食べながら何を話しているか：あまり記憶に残らない。

どだい三人の趣味趣向はそれぞれで、話は広く浅くになる。とりとめもない会話を交わして時間が来る。二人は4時になると決まって帰っていく。揃って韓国ドラマのファンなのだ。テレビが待っている。それでも月一度訪ねて来てくれるのが嬉しい。

もう一方は務めていた会社の同僚で、こちらは一人。月に一度、時には二度、午後3時過ぎになると、これから何分発の電車に乗るから、と電話が入る。到着の頃合いを見計らって号棟の玄関口まで出迎えるのが慣わしである。

到着するとまずビールで乾杯。そのあとしばらくしてワインに替える。ワインは彼の主導である。年に二、三回の海外旅行の際、奥さんに文句を言われながら持てるだけ仕入れてくる。奥さんは呑まない。相手はとりあえず小生だけである。おかげで「これいい香りだね」などと下戸の小生でも言えるようになった。

彼とは海外旅行の話をよくする。彼はすでに40数か国を凌駕しているから、片手で足る小生にとって彼は先生である。因みに彼は薬剤師で仕事先でも先生である。

三年前、彼に誘われて北欧のツアーに随行した。以前から行ってみたい地域の筆頭にあげていた処だったが、ツアーへの一人参加にためらいがあつて叶わずにいた。そして一昨年、ニュージールランドにも誘ってくれた。

今年是小生の生国である台湾に行こう、と言ってくれている。ありがたい友人夫婦である。彼は三時半に来て十時に帰る。晩飯は前もって買いに出て用意するか、時には小生が腕を振るう。いつも「美味しい」と言ってくれるから嬉しい。

会話はあちこち飛んで時間が過ぎるのを忘れる。初めて来た時は十一時になって奥さんから心配の電話が入った。以来十時には帰ることになっている。

嬉しい友人二人と、ありがたい同僚。我が家の大切なお客様である。

追記：我が家への訪問は「土産不要」がしきたりである。但し、奥さん方の差し入れは断っていない。



ある日の出来事

植原 正人(昭42文)



毎日定例のジムトレーニングの帰り道、東横線側道の坂道を登っていると、前方より白い杖をついて危なげに歩いてくる小生と同年代と思われる御仁と出会った。見ていると今にも電柱にぶち当たりそう。危ないと思った小生はすぐ駆け寄って危うく難を逃れた。聞けば等々力通りを歩いて九品仏まで帰るのだと言う。今歩いている道は自由が丘駅に向かう道。学園通りと等々力通りの交差点まで行けばあとは帰れると言うので、そこまで手を添えて案内することにした。「10年前に病気で見えなくなりました。見えた頃の記憶を頼りに歩いているのですがなかなか難しくして」と言われた。15分程歩いて交差点に到着した。「大丈夫ですか」の問いかけに「ここまで来れば帰れます。ありがとうございます。」

いました。」と深々と礼をされゆつくり歩き始めた。

6年前、物が見づらくなつて白内障の手術を受けたが、その結果裸眼で1.5の視力を得ました。もしあの時視力を失っていたら自分はどうかだつたらうかと考えてしまった。目の見えることがどれ程有難いことか、御仁の後ろ姿を見ながら「お気をつけて」と祈らずにはいられませんでした。

帰宅して、小学校6年卒業時の同級生の死を知ることになりました。13年前リサイタル中に脳溢血で倒れて右手を使えなくなつたが、懸命なりハビリで左手のピアノリストとして復活し、世界中を駆け回って活躍している館野泉さんの書いたコラムが夕刊に載っていた。同級生とは泉さんの妹悠子さんである。目黒区立緑が丘小学校に通う長身で目がクリクリして愛くるしい可愛

い少女だつた。小さい時からピアノを勉強し著名なピアノリストになった。だいぶ前のクラス会に2回ほど出席してくれたが、この10年ほどは連絡の案内にも返事は無かつた。コラムによれば悠子さんは、相次いで脳溢血で倒れたご主人、泉さん、そして母親の介護に疲れ切つていたという。面影を思い出して涙がこぼれた。その夜、小学校近くに住む同級生の女子二人を呼びそのコラムを読ませた。「あの悠子ちゃんか」と言つたとき二人は無言で泣き出した。

毎年6月1週にクラス会を開催しているが、毎回悲しい知らせや病氣療養中の報告が多くなつていく。年を経て行けば仕方ないことではあるものとの理解していても、辛いものだ。

帰宅して4才の孫から電話があつた。「爺！ 今度の日曜日行くからね」と弾んだ声。「おう、待ってるよ」と私。孫の声に癒される。1月には二人目の孫が生まれた。兄は可愛い可愛いとこの弟を溺愛している。肝臓病のため酒量に気を付ける以外至つて元気な私ではあるが、孫の小学校入学姿は見たいな！ 20才になったら一緒に酒を飲みたいな！ など独り夢を描いている。ベッドに横になると白杖の御仁、悠子ちゃん、そして孫たちのことを考えているうちに眠りに落ちた。

訃報

前会長

岩上健一氏ご逝去



岩上健一氏(昭和36年法学部卒)は昨年6月まで当世田谷稲門会の会長を勤められ、その間、創立20周年記念行事、それに伴う記念誌の発行、ホームページの充実、更には念願のレディースクラブ創設等々にリーダーとして情熱を傾けてこられました。

一方、往年の早稲田大学応援部監督としての実績、評価は高く、各方面に多くの知己をお持ちでした。

今年に入って体調を崩され療養中でしたが、平成27年6月26日(金)の朝方にご逝去されました。享年79歳。(満77歳)

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。(次号に追悼記事を掲載予定)

**世田谷稲門会 会員異動状況 平成27年5月31日現在**

〔新入正会員〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	FAX
大山 学	昭39	法	個人情報につき不掲載			
鈴木 俊光	昭48	政経				
松村 金栄	昭46	商				
宗像 あゆみ	平8	社会				
矢倉 義昭	昭56	法				
鈴木 俊一	平13	アジア研院				
河井 洋介	昭45	商				

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	理由	備考
三枝 郁夫	昭39	商		
岡庭 市三	昭45	法		
桜木 武比古	昭21	法		
桜庭 紘道	昭42	政経		
朱 茂	昭58	政経		
藤島 直迪	昭43	理工		
前川 ミヨ子	昭42	文		
志賀 利吉	昭24	商		
大松澤 晴実	昭38	政経		
前川 裕	昭46	法		
広瀬 哲哉	昭50	政経		
柘植 芳秀	平1	政経		

〔入会準会員〕

正会員名	準会員名	理由	備考
市川 隆彦	市川 恵子		
佐野 暢彦	佐野 淑子		

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	備考
依田 稲道	平10	人科				
矢野 貞行	昭42	商				
増田 義彦	昭56	政経				

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	その他
北垣 紀子	昭43	文				
依田 稲道	平10	人科				
小泉 威	昭44	法				
池田 友彦	昭62	文				

事務局からのお願い;

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話&ファックス 03-3305-4650

E-mail; shinoshoko@gmail.com

**編集後記**

3年に一度の新入会員募集キャンペーンが始まりました。3年前のキャンペーンの時には、私は入会したばかりの新人で、右も左も分からない状態でしたので、ブロック会の世話人の方に言われるままにキャロット会の割り当てられた地域の対象者の家を訪問したことを思い出します。8月のとても暑い中、徒歩で10件程度のお宅を地図で探しながら歩きました。しかし、ほとんどの方は不在で、なかなか成果が上がらない活動だなと実感したものです。

大学から卒業生の名簿をいただきましたが、個人情報保護法の関連からか、責任を持った名簿管理が要求されています。また、電話番号は教えてもらえませんが、電話による確認作業ができません。結局は住所を頼りに勧誘書類を郵送するか、戸別訪問となるのでしょうか、あまり強引な勧誘はしたくありません。100件送付して反応があるのは10%以下というのが現状です。さて今回はどうなりますか。

(複並 俊一/記)